平成 25 年 11 月 12 日

各　　位

上場会社名　株式会社ファーストエスコ
代表者名　代表取締役社長　島﨑　知格
（コード番号：9514 東証マザーズ）
問合せ先　常務取締役　小池　久士
（TEL.03-5299-8521）

特別損益の計上に関するお知らせ

平成 26 年６月期　第１四半期（平成 25 年７月１日～平成 25 年９月 30 日）において、下記の通り特別損益を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

記

１．特別利益の計上

平成 25 年７月 31 日に当社の持分法適用関連会社である株式会社白河ウッドパワーの全株式を取得し連結子会社化したことに伴い、同社の株式取得に係る段階取得に係る差益及び負ののれん発生益について次の通り計上することといたしました。

段階取得に係る差益	12 百万円
負ののれん発生益	443 百万円
合計	455 百万円

２．特別損失の計上

⑴減損損失

省エネルギー支援サービス事業のオンサイト自家発電事業の一部のプロジェクトにおいては、燃料高騰や設備費用の負担等、当初事業開始時の事業スキームから大幅にかい離が生じ、事業スキームそのものを見直しエネルギーサービス料の改定を顧客と協議してまいりました。しかしながら、自家発電設備の稼働低下の実態から容易に妥協点を見出すことができずエネルギーサービス契約は改定されておりません。このため、稼働低下から将来投資回収の可能性に懸念のある資産について減損処理をすることが望ましいとの結論に至り次の通り計上することといたしました。

減損損失　220 百万円

⑵借入金期限前返済費用

株式会社白河ウッドパワーの外部借入金につき期限前返済を実行いたしました。本借入金は、平成 19 年２月にシンジケート・ローンとして組成されたものですが、組成時のアレンジメントフィーを借入期間に応じて費用処理していたため期限前返済と同時に未償却残高を一括して費用処理いたしました。また、本借入は将来の金利リスクを低減するため金利スワップ契約

を締結しておりましたが、借入元本の返済のため金利スワップ契約を解約したため契約解約損が発生いたしました。これらの費用を次の通り計上しております。

借入金中途解約損	28 百万円
金利スワップ解約損	34 百万円
合計	62 百万円

特別損失合計	283 百万円

２．今後の見通し

平成 26 年６月期の連結業績予想につきましては、本特別損益のほか最近の業績動向を踏まえ様々な影響を精査中であり、業績予想値の修正が必要な場合は、速やかにお知らせいたします。

以　上